

北と南の絆、より強く！



第32回 YOSAKOIソーラン祭り

香美市・積丹町 姉妹都市盟約調印式

踊りで繋いだ32年の歴史

6月9日、町総合文化センターで、<sup>よしみ</sup>依光香美市長、村田同市議会副議長など香美市訪問団19名と、松井町長、岩本町議会議長など11名が出席し、「香美市」「積丹町」の姉妹都



【左から】村田香美市議会副議長、依光香美市長、松井積丹町長、岩本積丹町議会議長（6月9日）

市盟約調印式が行われました。

依光市長と松井町長が盟約書に署名し、これまでの32年の交流の歴史を次の世代に繋いでいく両市町の努力を誓い合いました。



長谷川 岳参議が記念講演

調印式終了後には、北大生だった当時に創設し、現在では北海道の初夏の一大イベント



ントとなったYOSAKOIソーラン祭り生みの親である長谷川参議院議員による「北と南の交流の軌跡」と題した記念講演会が開かれました。

国会から駆け付けた長谷川参議からは、平成4年に両市町の交流のきっかけとなった、第1回YOSAKOIソーラン祭り開催のエピソードなどを紹介。『北と南の離れた地域間交流だからこそ生かせる利点がある。両市町の交流は、全国の地域間交流のモデルになる。』と、両市町の今後の交流の輪の発展に応援と激励をいただきました。



心を一つに

「感謝」の演舞

6月10日・11日の両日は、『ヤーレンソーラン積丹町&香美市』合同チームが札幌市内



5会場で演舞を披露しました。幼児を含む積丹町28名と香美市20名の総勢48名の踊り子が、「ソーラン節」と高知県の「よさこい鳴子踊り」の楽曲に乗り、軽快な鳴子の拍子、踊り子たちの笑顔、そして子どもたちの可愛いかけ声により、ソーラン節の踊りとよさこい鳴子踊りをミックスした両市町の踊りを披露しました。札幌中心街の沿道からは、大きな拍手と声援が沸き上がりました。



2023/6/1

町民・積丹ファンに親しまれた35年に感謝

# 「味処しやこたん」 民営化し再始動！



本施設は、昭和61年から3年か

けて、道の小泊海岸環境整備の建設誘致運動の実現と併せて、町の玄関口の立地を生かしたレストハウスがあるキャンプ場として、観光と農水産物の販売や都市生活者に健全な余暇活動の場を提供する拠点づくりを目指して建設され、昭和63年度から営業を開始しました。平成4年度まで㈱積丹観光振興公社が業務委託を受けて運営。平成5年度からは町直営に変更となり、その後、平成19年度に行財政改革により休館。平成20年度からは指定管理者制度により、㈱しやこたん興業が期間満了の令和2年度まで運営しました。

## 町営施設の課題克服と民営化

町では、老朽化が進む本施設の現状や国庫補助金施設としての制約等

を踏まえて、令和3年度から休館としていました。

この間、これまでの管理運営収支の検証や今後見込まれる改修費用と町の財政負担などの課題について、議会においても検討し、公設公営の旧岬の湯しやこたんの事例を参考にしながら、民営化することになりました。

## 民営化の条件

公募型企画提案（プロポーザル）方式によることを決定し、主な基本的条件は、①建物の売却処分は「時価（280万円（不動産鑑定評価）」定額での売却。②土地は30年間の有償貸付（更新可）。③町内に本店を有する法人、又は、住所を有する個人事業者。④譲渡を受けた日から5年以上建設時の目的に沿った事業の継続などとし、本町の地域活性化の貢献が期待できる民間事業者を募集しました。

## 民間事業者の決定・譲渡

令和5年3月1日から同年4月14日までの公募期間中、2社から応募がありました。

札幌学院大学学長を外部オプ

ザーバーとする庁内プロポーザル選定委員会によるヒアリング等の審査の結果、㈱しやこまる（代表取締役 奈良 亘・積丹町大字美国町字大沢698番地2）を優先交渉権者として選定し、議会への報告等を経て、5月17日に同社と「積丹町美国地区緑地等利用施設民間譲渡等に関する基本協定書」「町有財産譲渡契約書」「土地賃貸借契約書」を締結。6月1日に本施設を譲渡、引き渡しを完了しました。

## ご挨拶

㈱しやこまる  
代表取締役 奈良 亘

積丹町のすばらしい自然を活用したアウトドア体験アクティビティの拠点づくりが夢でした。飲食・キャンプ宿泊なども含め、積丹半島をまるごと楽しみ、遊べる体験観光の新たな拠点になるよう、町民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、一生懸命頑張りたいと思います。